

施策評価調書(内部評価結果)

整理番号 **22**

■ 総合計画(後期基本計画)

政策名	IV	生涯学習都市
施策名	⑤	歴史文化遺産の保全と活用

所管部局	所管部局長の氏名
企画総務部	木村 嘉充
教育委員会事務局	吉岡 喜代和

1 関連する個別計画 **PLAN**

個別計画名称	計画概要	計画年次	計画期間	備考
京丹後市文化財マスタープラン	市内に所在する多岐にわたる文化財を適切に保護し、その中から特に学術的に重要で、まちづくりの観点からも価値が高いと判断される史跡等文化財に対して、保存及び活用整備を進めるための方向性を示すもの	平成18年10月		計画期間なし
国史跡網野銚子山古墳整備基本計画	「丹後王国」を代表する国史跡網野銚子山古墳に関して、京丹後市史跡整備検討委員会を組織して専門的な立場、地元からの検討を加えて基本計画を策定した	平成23年3月	当面の計画として概ね6年間	当面整備計画として概ね6年の計画も策定

2 施策目的

優先順位	現状においてどのような問題や課題がある(何のために)	『何を対象に』、『どのようなことを行うこと(又はどのような手段で)』	どのような状態にしたいのか	関連する施策方針
1	丹後建国1300年を契機として、地域に眠る地域資源を再認識するため、	シンポジウムの開催や歴史・伝説をテーマとしたツアーの開発を行い、地域の歴史・文化財をまちづくり、観光に生かす。	まちづくりや観光振興、「海の京都」構想の推進を図る。	2 丹後王国の歴史文化の保存・発信
2	本市は、多くの考古資料や歴史資料、民俗資料を有し、資料館等で展示公開しているが、まだ利用者が少ない	資料館等での特別展示・企画展示や体験メニューを充実させる	資料館等の入館者を増加させ本市の優れた文化財を広く普及し学習活動、観光につなげる	1 歴史資料館のネットワーク 2 丹後王国の歴史文化の保存・発信
3	本市には「丹後王国」時代の古代の優れた史跡が多くあるが、まだ十分な整備がされていない箇所がある	網野銚子山古墳などの史跡整備を進め、市民や市外の人に丹後王国の歴史を学ぶ機会を提供する	市民や市外の人に史跡の整備を進めて、丹後の歴史を体感できる場所を提供し、郷土愛を培い観光資源としても活用する	2 丹後王国の歴史文化の保存・発信
4	貴重な文化財が痛み劣化しており、修繕をする必要がある。また市民等に歴史や文化財への関心を高めてもらう必要がある	補助制度の活用により文化財の保全を図り、文化財セミナー、シンポジウム、京丹後史博士講座などの歴史講座を開講する	貴重な文化財を保全し後世に伝え、歴史講座等の開設で、郷土の歴史を学び郷土愛を培う	3 文化財の保存と活用
5	京丹後市に残る文化財や文化財や資料の調査研究を推進して市の歴史を解き明かす必要がある	京丹後市史編さん事業により、市の歴史、文化財の調査研究を進め、本文編、資料編として刊行する	京丹後市史編さん事業の研究結果を刊行物で発刊することで、歴史を学べる機会を提供し町づくりに生かす	4 市史編さんの取り組み

3 目標値など

総合計画	めざす目標	指標名	総合計画作成時 (H17)		後期基本計画作成時 (H20)		直近年度実績値 (現状)		目標 (H26)	
			年度	年度	年度	年度	年度	年度		
「丹後王国」の情報発信の力を高めます		文化財博士登録制度の登録者数	0人	H16	34人	H20	50人	H25	100人	H26
		京丹後市史の刊行	新規	-	0巻	H20	11巻	H25	14巻	H26

個別計画	個別計画名称	指標名	説明・備考	計画策定時	直近年度実績値 (現状)		目標	
					年度	年度	年度	年度
なし								

4 構成事務事業・評価結果一覧

DO

CHECK

施策方針	事務事業 事業内容(実績)	担当課	予算額(単位:千円)		事務事業の概要								施策評価結果		
			H25決算額	H26予算額(一般財源)	根拠法令	財政負担	単独事業	事業種別	対象	実施手法	関与必要性 数値	説明	施策目的	施策貢献度	今後の方向性
1 歴史資料館のネットワーク	1 郷土資料館管理運営事業 網野郷土資料館の維持管理と運営(入館者数784人)	文化財保護課	2,024	1,767(1,745)	市規定	単費	○	維持管理	市民	直・委	3	個性魅力	2	A	統合(整理)
	2 古代の里資料館管理運営事業【方針2にも該当】 丹後古代の郷土資料館の維持管理と運営(入館者数3,881人)	文化財保護課	9,586	10,939(10,319)	市規定	単費	○	維持管理	市民	直・委	3	個性魅力	2,3	A	現状維持
	3 指定管理施設運営事業 琴引浜鳴き砂文化館の維持管理・運営(入館者数9,143人)	文化財保護課	7,468	12,215(9,215)	市規定	単費	○	サービス	市民	指・他	3	個性魅力	2,4	A	現状維持
2 丹後王国の歴史文化の保存・発信	1 丹後建国1300年記念事業 記念シンポジウムを開催、歴史伝説をテーマとしたツアーを開発、実行委員会負担金を支出	企画政策課	7,180	-	なし	単費	○	サービス	市民	直・委・負	3	個性魅力	1	A	終了・廃止
	2 遺跡整備事業【方針3にも該当】 国史跡網野銚子山古墳の遺跡保護のため、用地の一部を購入(13筆)	文化財保護課	16,869	9,447(321)	国規定	国・一部	含む	施設整備	市民	直	3	個性魅力	3	A	現状維持
	3 遺跡整備事業【明許繰越】【方針3にも該当】 国史跡網野銚子山古墳の遺跡保護のため、用地の一部を購入(6筆)	文化財保護課	8,524	-	国規定	国・一部	含む	施設整備	市民	直	3	個性魅力	3	A	現状維持
	4 古代の里資料館管理運営事業【再掲】方針1 丹後古代の郷土資料館の維持管理と運営(入館者数3,881人)	文化財保護課	9,586	10,939(10,319)	市規定	単費	○	維持管理	市民	直・委	3	個性魅力	2,3	A	現状維持
	5 文化財保護啓発事業【再掲】方針3 資料館での企画展示や文化財セミナー(3回)・「京丹後市博士」育成講座(12回)の実施	文化財保護課	954	4,805(4,785)	市規定	単費	○	サービス	市民	直・委	3	個性魅力	2,3,4	A	拡大
3 文化財の保存と活用	1 松本重太郎100年記念・総合調査プロジェクト 京丹後市出身の松本重太郎翁の功績や企業家精神などの調査・研究に向けた協議に関する経費	企画政策課	15	-	なし	単費	○	サービス	市民	直	3	個性魅力	1,5	A	終了・廃止
	2 松本重太郎100年記念・総合調査プロジェクト【明許繰越】 平成25年度事業の一部を繰越して実施する事業	企画政策課	-	1,500(1,500)	平成25年度事業の一部を繰越して実施する事業										
	3 文化財保護審議会委員設置事業 文化財保護審議会を開催(4回)、文化財保護審議会の視察研修を実施	文化財保護課	441	501(501)	市規定	単費	○	内部管理	-	-	-	-	5	B	現状維持
	4 文化財保護啓発事業【方針2にも該当】 資料館での企画展示や文化財セミナー(3回)・「京丹後市博士」育成講座(12回)の実施	文化財保護課	954	4,805(4,785)	市規定	単費	○	サービス	市民	直・委	3	個性魅力	2,3,4	A	拡大
	5 文化財保護啓発事業【明許繰越】 琴引浜に漂着したオサガメ(絶滅危惧種)の剥製を制作	文化財保護課	324	-	市規定	単費	○	サービス	市民	直	3	個性魅力	2,3,4	A	拡大
	6 市指定文化財等補助金 文化財の修理保全事業に対して補助金を交付(17件)	文化財保護課	2,000	2,000(2,000)	市規定	単費	○	維持管理	団体	補	3	個性魅力	4	A	拡大
	7 史跡等維持管理事業 史跡等の維持管理、指定文化財の補修・草刈等を実施(18か所)	文化財保護課	2,719	2,366(2,258)	国規定	単費	○	維持管理	市民	直・委	3	個性魅力	3,4	B	現状維持
	8 文化財整理事業 写真資料のデジタルデータ化(6,016点データ化)、大耳尾古墳群発掘調査報告書を作成	文化財保護課	267	206(206)	市規定	単費	○	内部管理	-	-	-	-	4	B	現状維持
	9 遺跡発掘調査等事業 久美浜町域の遺跡分布調査、遺跡台帳の整理を実施	文化財保護課	2,122	2,129(629)	国規定	国・一部	-	内部管理	-	-	-	-	3,4	A	現状維持
	10 文化財保護一般経費 文化財保護関係団体への負担金支出、関係団体への補助金交付及び施設の維持管理	文化財保護課	698	656(656)	なし	単費	○	サービス	団体	直・補・負	3	個性魅力	4	B	縮小
	11 遺跡整備事業【再掲】方針2 国史跡網野銚子山古墳の遺跡保護のため、用地の一部を購入(13筆)	文化財保護課	16,869	9,447(321)	国規定	国・一部	含む	施設整備	市民	直	3	個性魅力	3	A	現状維持
	12 遺跡整備事業【明許繰越】【再掲】方針2 国史跡網野銚子山古墳の遺跡保護のため、用地の一部を購入(6筆)	文化財保護課	8,524	-	国規定	国・一部	含む	施設整備	市民	直	3	個性魅力	3	A	現状維持

施策方針	事務事業 事業内容(実績) 担当課		予算額(単位:千円)		事務事業の概要							施策評価結果				
			H25決算額	H26予算額 (一般財源)	根拠 法令	財政 負担	単独 事業	事業 種別	対象	実施 手法	関与必要性 数値	説明	施策 目的	施策 貢献度	今後の 方向性	
4 市史編さんの取り組み	1	市史編さん事業 各種調査を実施し、資料編『京丹後市の民俗』久美浜代官関係史料集』の2冊を刊行(各600部)	文化財保護課	8,519	12,029 (11,782)	市規 定	単費	○	サー ビス	市民	直・委	3	個性魅力	5	A	終了・ 廃止
	2	市史編さん事業【明許繰越】 平成25年度事業の一部を繰り越しして実施する事業	文化財保護課	-	700 (700)	平成25年度事業の一部を繰り越しして実施する事業										
			計	69,710	61,260 (46,617)											

※ 合計金額には再掲事業を含んでいません。

5. 歳出抑制の考え方について

ACT

施策における歳出抑制の考え方	No.	歳出抑制の考え方 (平成27~29年度までの3か年で取り組む歳出抑制)	一般財源抑制見込額 (単位:千円)	補完・代替措置などがある場合は、その内容

予算科目	10教育費	05社会教育費	04資料館費	01郷土資料館管理運営事業
細事業名	01 郷土資料館管理運営事業			決算書 P.346
総合計画	基本方針	Ⅳ 生涯学習都市	計画項目	⑤ 歴史文化遺産の保全と活用
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
2,024千円	2,047千円	23千円	98.8 %	2,099千円
目的	民俗資料の調査保存、公開施設である郷土資料館の維持管理を行うことで、郷土の文化遺産に関する住民の関心を高め、歴史を学ぶことに資する。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>市民及び市外からの来訪者のために、豊富に残る市所蔵や寄贈を受けた民俗資料を適切に保管・公開し、文化財保護の普及啓発を図る郷土資料館の維持管理運営を行った。</p> <p>平成25年度入館者数 784人 (前年度入館者数 963人)</p> <p>○人件費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・臨時職員賃金・共済費 1,019千円 臨時職員2人分の賃金と労災保険料 <p>○維持管理経費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消耗品費 72千円 ・燃料費 22千円 ・光熱水費 134千円 ・電話料 70千円 ・消火器リサイクル料 5千円 ・火災保険料 54千円 ・機械警備委託料(長期継続契約) 145千円 ・消防用設備等保守点検委託料 11千円 ・コピー機借上料 10千円 ・清掃用具借上料 10千円 ・テレビ受信料 14千円 ・郷土資料館まつり用勾玉作り材料 26千円 ・消火器購入費(4本) 38千円 ・施設修繕料(本館屋根棟部分の修繕) 394千円 			
主な財源	使用料	郷土資料館入館料		30千円
評価・課題等	<p>○施設を適切に維持管理し、市内でかつて使用された生活道具(民俗資料)を来館者へ公開することで、郷土に残る文化遺産に関する住民の関心を高めることができた。</p> <p>○小学生の社会科見学で実物に触れるなど、さまざまな工夫を行うことで学習効果の向上につながった。</p> <p>○昭和21年建築の旧木津小学校校舎を利用した建物は、木造であり施設の老朽化が進んでいるため、市の公共施設見直し計画に基づき、施設の統合について検討する必要がある。</p>			
事業所管課	教育委員会事務局/文化財保護課			

予算科目	10教育費	05社会教育費	04資料館費	02古代の里資料館管理運営事業
細事業名	01 古代の里資料館管理運営事業			決算書 P.348
総合計画	基本方針	Ⅳ 生涯学習都市	計画項目	⑤ 歴史文化遺産の保全と活用
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
9,586千円	9,766千円	180千円	98.1 %	9,834千円
目的	考古資料等の調査保存、公開施設である古代の里資料館の維持管理を行うことで、郷土の文化遺産に関しての住民の関心を高め、教育、文化にふれあい、歴史を学ぶことに資する。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>豊富に残る考古資料・美術工芸品を適切に保管・公開し、文化財保護の普及啓発を図る丹後古代の里資料館の維持管理運営を行った。平成25年度は、リニューアルした常設展示の図録（展示ガイド）の作成・販売のほか、丹後建国1300年記念事業に関する特別展示を実施し、来訪者への普及啓発に資した。</p> <p>平成25年度入館者数 3,881人（前年度入館者数 2,683人）</p> <p>○人件費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料館長報酬、共済費、費用弁償 2,304千円 資料館長報酬 166,500円×12か月=1,998千円 ・臨時職員賃金、共済費 3,304千円 臨時職員3人分の賃金と社会保険料等 <p>○維持管理経費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・光熱水費 1,536千円 ・消耗品等 270千円 ・通信運搬費等役務費 183千円 ・機械警備委託料 124千円 ・浄化槽維持管理委託料 299千円 ・土地借上料（2,915㎡） 121千円 ・その他管理経費（清掃用具借上・コピーリース・小修繕等） 674千円 <p>○体験用経費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原材料費（勾玉作り材料及び陶芸体験用材料） 54千円 ・報償費（窯焼謝礼） 67千円 <p>○常設展示図録（展示ガイド）作成経費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・展示ガイド1,000冊印刷製本費 650千円 			
主な財源	使用料	古代の里資料館入館料	540千円	
	使用料	公有財産使用料	77千円	
	諸収入	古代の里資料館物品販売代金	6千円	
	諸収入	古代の里資料館陶芸教室実習料	130千円	
	諸収入	古代の里資料館書籍販売代金	240千円	
評価・課題等	<p>○小中学校の地域学習の拠点施設として活用することで、市内小中学生に対して市内の歴史に関する知識を深め、関心を高めることができた。</p> <p>○展示リニューアルの内容に即した展示ガイドを作成したことにより、来館者に対して丹後に残る文化財についての理解を深めることができ、歴史・文化への関心を高めることができた。</p> <p>○効率的・効果的な運営を図るため、公共施設の見直し方針に基づき、管理形態の見直しについて検討する必要がある。</p>			
事業所管課	教育委員会事務局／文化財保護課			

予算科目	10教育費	05社会教育費	04資料館費	03資料館等指定管理運営事業
細事業名	01 指定管理施設運営事業			決算書 P.348
総合計画	基本方針	Ⅳ 生涯学習都市	計画項目	⑤ 歴史文化遺産の保全と活用
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
7,468千円	7,468千円	0千円	100.0%	7,468千円
目的	<p>琴引浜鳴き砂文化館の適正な管理運営を行い、琴引浜の鳴き砂の保全及び保護啓発活動、自然環境学習の援助並びに促進を図る。</p>			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>琴引浜鳴き砂文化館は、鳴き砂の学習施設や環境学習の施設として、環境保全について学べる施設として指定管理制度を導入し、掛津区が管理運営にあっている。教育施設の性格を持つとともにジオパークを紹介する展示を行うなど観光施設にもなっている。</p> <p>平成25年度入館者数 9,143人（前年度入館者数 9,599人）</p> <p>○委託料 指定管理者の管理運営に伴う管理委託料 6,268千円 （運営に必要な人件費、施設の維持管理経費）</p> <p>○使用料及び賃借料 1,200千円 建物の所有者である財団法人日本ナショナルトラストへの建物賃借料</p>			
主な財源				
評価・課題等	<p>○各種の展示事業に加えて、琴引浜をテーマにしたガイドウォークにも取り組み、積極的な管理運営に努めた。各種視察受け入れやジオパーク構想・ガイド事業に取り組み、環境学習及びジオパークに関する情報提供の拠点施設としての役割を果たした。</p> <p>○市内外の利用者獲得に向けて、展示内容のリニューアルなどさらなる入館者の増加を図り、琴引浜の保護啓発活動を進める必要がある。</p>			
事業所管課	教育委員会事務局／文化財保護課			

予算科目	02総務費	01総務管理費	07企画費	10丹後建国1300年記念事業	
細事業名	01 丹後建国1300年記念事業			決算書	P.86
総合計画	基本方針	Ⅳ 生涯学習都市		計画項目	⑤ 歴史文化遺産の保全と活用
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額	
7,180千円	7,267千円	87千円	98.8%	8,340千円	
目的	丹後建国1300年を振り返り、丹後地域の宝を掘り起し、まちづくりや観光振興につながる3市2町の丹後地域一体となった取り組みを実施し、丹後地域の魅力を発信する。				
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>3市2町の実行委員会の丹後建国1300年記念事業と連携し、市としても観光誘客を図るためのツアーの商品開発や地域の魅力づくり、記念展示、市民の方が歴史を学ぶシンポジウムの開催などを実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○丹後建国1300年記念事業実行委員会負担金 760千円 実行委員会構成員数：23団体 シンポジウムの開催、書籍「丹後王国物語」作成、観光誘客事業などを実施 <実施事業> ○1300年記念・丹後探検ウィーク【商工振興課】 533千円 1300年記念にちなんだ特産品コンテスト、特産品PRのための大試食会、特産品販売店への訪問を促進する取組の実施。 ○丹後ちりめんの伝統・文化のPR【商工振興課】 696千円 「丹後小町踊り子隊」の活動支援による丹後ちりめんのPR ○丹後建国1300年ツアー開発及び誘客【観光振興課】 2,000千円 中京圏をターゲットに観光ツアーを造成販売（販売実績3,243人） ○古代米及び稲作発祥の地PR【スポーツ観光・交流課】 897千円 月の輪田での田植え・稲刈り体験等のイベントを実施し、稲作発祥の地をPR ○丹後建国1300年記念シンポジウム【文化財保護課】 1,012千円 「丹後国風土記の世界を旅する」シンポジウムを開催し記録集を刊行 ○埴輪製作プロジェクト【文化財保護課】 266千円 丹後国から出土した埴輪を製作（約80個）し丹後古代の里資料館など3会場で展示 ○丹後古代の里資料館特別展示【文化財保護課】 1,016千円 「丹後王国の世界」「松井康之と久美浜」などの特別展を開催 ※松井康之（1550年～1612年） 細川家家老として久美浜を治め、久美浜の基礎をつくった人物 				
主な財源	府補 未来づくり交付金（丹後建国1300年記念事業） 270千円 諸収入 シンポジウム助成金 1,000千円				
評価・課題等	<p>○古代丹後王国をテーマとした冊子「丹後王国物語」の作成や配布、シンポジウムや特別展示の開催、稲作発祥の地など丹後の歴史や伝説を発信したことで、市民が地域の資源を再発見・再認識するきっかけになるとともに、当該資源をまちづくりに活かす気運を生み出すことができ、今後の地域づくりにつなげていくことができた。</p> <p>○3市2町の事業として歴史に基づく丹後の魅力を発信することができた。</p>				
事業所管課	企画総務部／企画政策課				

予算科目	10教育費	05社会教育費	06文化財保護費	06遺跡整備事業												
細事業名	01 遺跡整備事業			決算書 P.356												
総合計画	基本方針	Ⅳ 生涯学習都市	計画項目	⑤ 歴史文化遺産の保全と活用												
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額												
16,869千円	16,912千円	43千円	99.7%	34,962千円												
目的	丹後の特色と歴史を物語る重要な文化財の環境整備を推進し、教育・観光・地域づくりの資源などへ有効に活用する。															
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>平成25年度は、国指定史跡網野銚子山古墳について、平成23年度に策定された「網野銚子山古墳整備基本計画」に沿って、遺跡の保存を図るべく史跡指定地内の用地の一部を購入した。</p> <p>○網野銚子山古墳史跡等買上経費</p> <table border="0"> <tr> <td>・旅費</td> <td>用地購入に関する関係者協議</td> <td>5千円</td> </tr> <tr> <td>・需用費</td> <td>消耗品費</td> <td>3千円</td> </tr> <tr> <td>・使用料及び賃借料</td> <td>関係者協議に係る有料道路使用料</td> <td>6千円</td> </tr> <tr> <td>・公有財産購入費</td> <td>土地購入費（13筆：実面積計7,830.63㎡）</td> <td>16,855千円</td> </tr> </table>				・旅費	用地購入に関する関係者協議	5千円	・需用費	消耗品費	3千円	・使用料及び賃借料	関係者協議に係る有料道路使用料	6千円	・公有財産購入費	土地購入費（13筆：実面積計7,830.63㎡）	16,855千円
・旅費	用地購入に関する関係者協議	5千円														
・需用費	消耗品費	3千円														
・使用料及び賃借料	関係者協議に係る有料道路使用料	6千円														
・公有財産購入費	土地購入費（13筆：実面積計7,830.63㎡）	16,855千円														
主な財源	国補 市債	史跡等購入費補助金（4/5） 遺跡整備事業債（合併特例債）	13,484千円 3,200千円													
評価・課題等	<p>○国史跡指定地の一部ではあるが、用地購入したことにより遺跡の保護を図ることができた。引き続き予定区域の用地取得を進める必要がある。</p> <p>○「網野銚子山古墳整備基本計画」に基づき一定の環境整備を行い、多方面の活用に資することが将来的な課題である。</p>															
事業所管課	教育委員会事務局／文化財保護課															

予算科目	10教育費	05社会教育費	06文化財保護費	06遺跡整備事業
細事業名	01 遺跡整備事業（繰越）			決算書 P.356
総合計画	基本方針	IV 生涯学習都市	計画項目	⑤ 歴史文化遺産の保全と活用
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
8,524千円	8,525千円	1千円	99.9%	8,525千円
目的	丹後の特色と歴史を物語る重要な文化財の環境整備を推進し、教育・観光・地域づくりの資源などへ有効に活用する。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>国指定史跡網野銚子山古墳について、平成23年度に策定された「網野銚子山古墳整備基本計画」に沿って、遺跡の保存を図るべく史跡指定地内の用地の一部において、用地交渉が長期化した6筆について、繰越を行い用地を購入した。</p> <p>○網野銚子山古墳史跡等買上経費</p> <p>・公有財産購入費 土地購入費（6筆：実面積計2,590.92㎡） 8,524千円</p> <p>【参考】24年度用地購入 9筆 実面積4976.39㎡ 16,372千円</p>			
主な財源	国補	史跡等購入費補助金（4/5）		6,819千円
	市債	遺跡整備事業債（合併特例債）		1,600千円
評価・課題等	<p>○国史跡指定地の一部ではあるが、用地購入したことにより遺跡の保護を図ることができた。引き続き予定区域の用地取得を進める必要がある。</p> <p>○「網野銚子山古墳整備基本計画」に基づき一定の環境整備を行い、多方面の活用に資することが将来的な課題である。</p>			
事業所管課	教育委員会事務局／文化財保護課			

予算科目	02総務費	01総務管理費	07企画費	16松本重太郎100年記念・総合調査プロジェクト	
細事業名	01 松本重太郎100年記念・総合調査プロジェクト			決算書	P.90
総合計画	基本方針	Ⅳ 生涯学習都市		計画項目	⑤ 歴史文化遺産の保全と活用
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額	
15千円	1,550千円	1,535千円	0.9%	0千円	
目的	京丹後市（丹後町間人）出身の松本重太郎翁の功績や起業精神などを調査・研究することにより、新たな京丹後市の発信や商工業の連携、ネットワークの形成を図る。				
主要な事務・事業及び成果の概要	京丹後市出身の偉人である松本重太郎翁の功績や起業精神などを調査・研究するため、有識者と協議を行った。				
	○職員旅費				2千円
	○有料道路通行料				13千円
	参考	繰越明許費を除いた最終予算額	50千円		
		実質的な執行率	30.0%		
	■平成26年度への繰越事業 ・松本重太郎調査研究業務委託料 1,500千円（契約期限：平成26年8月完成）				
主な財源					
評価・課題等	○松本重太郎翁の功績や起業精神などをまとめた資料がない中で、有識者等と協議を重ね、松本重太郎の功績等に係る調査・研究業務にとりかかった。 ○当該調査・研究結果を活用し、新たな京丹後市の発信や商工業の連携、ネットワークの形成を図る。				
事業所管課	企画総務部／企画政策課				

予算科目	10教育費	05社会教育費	06文化財保護費	01文化財保護審議会委員設置事業
細事業名	01 文化財保護審議会委員設置事業			決算書 P.352
総合計画	基本方針	IV 生涯学習都市	計画項目	⑤ 歴史文化遺産の保全と活用
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
441千円	472千円	31千円	93.4 %	472千円
目的	文化財の指定・解除等の諮問機関である文化財保護審議会で、文化財の保全及びその活用について調査・審議を行うことで、市の文化財の保全や活用に資する。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>○文化財保護審議会の開催経費 180千円</p> <p>市文化財の指定・管理等に関する事項や文化財関係事業、文化財保護普及啓発等を検討するため審議会を開催した。さらに両丹文化財保護連絡協議会において審議検討した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・報酬 半日×4回(4千円×39人) 156千円 ・費用弁償 24千円 <p>○両丹文化財保護連絡協議会への参加 61千円</p> <p>平成25年度は与謝野町の加悦保健センター「元気館」を会場に開催された。7つの市町の文化財保護審議会委員や関係者を含め約60人が参加し交流を深めた。テーマは指定文化財となっているものを中心に樹木についての研修が行われた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・報酬 1日×1回(7千円×8人) 56千円 ・費用弁償 5千円 <p>○文化財保護審議会委員視察研修費 142千円</p> <p>京丹後市の文化財行政に活かすため、史跡の整備活用の先進地や、学校の跡地利用に関する視察研修を行った。</p> <p>平成26年2月21日～22日 (今城塚古墳、心合寺山古墳、京都市学校歴史博物館など)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旅費(11人) 142千円 ・その他経費 58千円 燃料費、バス運転委託料、有料道路通行料 			
主な財源				
評価・課題等	<p>○両丹文化財保護連絡協議会へ参加し、各市町間において意見交流を行うことにより研鑽を積むことができた。</p> <p>○委員視察研修では史跡整備、学校施設の再利用などをテーマに視察し、今後の文化財行政への活用を検討することができた。</p> <p>○限られた回数 of 審議会の中で、多数の文化財を効率よく審議する方策について検討する必要がある。</p>			
事業所管課	教育委員会事務局／文化財保護課			

予算科目	10教育費	05社会教育費	06文化財保護費	02文化財保護啓発事業
細事業名	01 文化財保護啓発事業			決算書 P.352
総合計画	基本方針	Ⅳ 生涯学習都市	計画項目	⑤ 歴史文化遺産の保全と活用
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
954千円	1,030千円	76千円	92.6 %	1,075千円
目的	京丹後市内に数多く残されている文化財や調査成果などを市民などに公開することで郷土の歴史や文化財について学ぶことのできる機会を提供し、その認識を高める。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>市民や来訪者のために「京丹後市史」をはじめとする文化財の調査成果を広く周知するための講座を開催した。また寄贈を受けた美術品に関する特別展示と講演会を開催し、活用を図ることができたほか、平成27年度に京都文化博物館にて開催する「(仮称)大丹後展」の準備・実施を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○文化財セミナー 講師謝金・旅費 (6人) 242千円 <ul style="list-style-type: none"> ・第1回 (7月8日) 参加者80人 ・第2回 (7月15日) 参加者60人 ・第3回 (7月31日) 参加者80人 ○「京丹後史博士」育成講座 全12講座 延べ受講者数313人 <ul style="list-style-type: none"> 外部講師 (5人) 報償費・費用弁償 17千円 ○網野郷土資料館まつり <ul style="list-style-type: none"> 「織りの実演」謝礼 (2人) 18千円 ○上前智祐里帰り展示「Chiyu Uemae 最初の始まり 上前智祐・さとかえりてん」関係 <ul style="list-style-type: none"> 会期10月5日～11月11日、記念講演会 (10月6日) 観覧者延べ450人 展示図録・ポスター・チラシ・リーフレット印刷製本費 362千円 展示関係消耗品、記念講演会音響機器借上料 30千円 図録原稿作成謝金 (1人) 18千円 展示構成・展示図録監修謝金 (1人) 50千円 記念講演会 講師謝金・旅費 (1人) 52千円 ○(仮称)「大丹後展」に関する経費 <ul style="list-style-type: none"> 職員旅費・有料道路通行料等 165千円 			
主な財源	諸収入 京丹後史博士育成事業資料代			27千円
評価・課題等	<p>○市の文化財の公開やセミナーなどの実施により、市外からの観光客も含め、市の歴史や文化財に対して興味・関心を高めることができた。</p> <p>○各事業を通じて、丹後建国1300年を意識した内容に取り組み、その機運醸成に貢献することができた。</p> <p>○平成27年度開催予定の「(仮称)大丹後展」について、関係市町に対する協力要請を行うなどの準備を進めた。</p>			
事業所管課	教育委員会事務局／文化財保護課			

予算科目	10教育費	05社会教育費	06文化財保護費	02文化財保護啓発事業
細事業名	01 文化財保護啓発事業（繰越）			決算書 P.354
総合計画	基本方針	IV 生涯学習都市	計画項目	⑤ 歴史文化遺産の保全と活用
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
324千円	324千円	0千円	100.0%	324千円
目的	京丹後市内に数多く残されている文化財や調査成果などを市民などに公開することで郷土の歴史や文化財について学ぶことのできる機会を提供し、その認識を高める。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>平成25年1月24日に琴引浜に漂着し、その後死亡したオサガメについて展示品として剥製を製作し琴引浜鳴き砂文化館に展示した。オサガメは絶滅危惧種であり非常に珍しい。製作に当たってはカメの体内の乾燥のためには長い時間を必要とするため、平成24年度からの繰越事業として実施した。</p> <p>○展示用オサガメ剥製制作委託業務（委託料） 324千円</p>			
主な財源				
評価・課題等	絶滅危惧種のオサガメの剥製を作成することにより、環境学習に関する展示資料の充実を図ることができた。			
事業所管課	教育委員会事務局／文化財保護課			

予算科目	10教育費	05社会教育費	06文化財保護費	03指定文化財等管理事業
細事業名	01 市指定文化財等補助金			決算書 P.354
総合計画	基本方針	IV 生涯学習都市	計画項目	⑤ 歴史文化遺産の保全と活用
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
2,000千円	2,000千円	0千円	100.0%	2,000千円
目的	文化財の修理などの保全事業に対して補助金を交付することにより、貴重な文化財を守り次世代に引き継ぐ。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>○京丹後市指定文化財等補助金 17件 2,000千円</p> <p>内訳 ・社寺等文化資料保全補助金該当分 14件 1,851千円</p> <p>・国、府指定補助金該当分 3件 149千円</p> <p>事業対象は寺院の建造物修理、神社覆屋の修理、郷土芸能の道具の新調、絵画の修理などで、事業費の総額は30,009千円であった。</p> <p>※参考 平成24年度事業実績</p> <p>補助件数 18件</p> <p>補助金額 2,000千円</p> <p>事業総額 23,460千円</p>			
主な財源				
評価・課題等	補助金を交付することにより、文化財所有者等の負担軽減と貴重な文化財の保全を図ることができた。			
事業所管課	教育委員会事務局／文化財保護課			

予算科目	10教育費	05社会教育費	06文化財保護費	03指定文化財等管理事業
細事業名	02 史跡等維持管理事業			決算書 P.354
総合計画	基本方針	Ⅳ 生涯学習都市	計画項目	⑤ 歴史文化遺産の保全と活用
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
2,719千円	3,242千円	523千円	83.8 %	1,732千円
目的	指定文化財やそれに関連する施設の草刈りや補修等の維持管理を行うことにより、文化財の適切な管理と活用を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>○史跡等草刈委託・文化財施設環境美化委託料 1,598千円 史跡等用地の草刈、清掃により文化財の見学の利用供与や、維持管理を行った。 網野銚子山古墳、神明山古墳、函石浜遺跡、赤坂今井墳墓、産土山古墳 竹野神社など18件</p> <p>○指定文化財関連施設管理経費 42千円 郷村断層等の指定文化財施設の維持経費 11千円 火災保険料（旧口大野村役場、郷村断層施設、浜詰遺跡施設） 31千円</p> <p>○コウノトリモニタリング等関連事業（謝金・消耗品費・備品購入ほか） 883千円 市内で営巣活動をしていたコウノトリペアについて、雄親の死亡事故をきっかけに体制を整備し、モニタリング（観察）を行った。また、誕生した5羽のコウノトリが巣立ちするまでの間を、専門機関と連携し収容するなどの対応を行った。</p> <p>○京丹後市指定文化財看板等設置事業（土地借上料・工事請負費） 196千円 市指定文化財等の看板を3基について修繕を行った。また関連施設等の看板の設置にあたり土地借上料を支出した。</p>			
主な財源				
評価・課題等	<p>○史跡や周辺施設等の環境整備を行うことにより、文化財の保全が図られ、文化財見学等の利用促進にもつながった。</p> <p>○特別天然記念物コウノトリの営巣活動に際し、個体の安全確保やこれに関する情報提供などの取り組みができた。</p> <p>○指定文化財については案内板等が未整備のものもあるため、整備を行い、来訪者の利便性向上と文化財の保護啓発を図る必要がある。</p>			
事業所管課	教育委員会事務局／文化財保護課			

予算科目	10教育費	05社会教育費	06文化財保護費	05文化財整理事業												
細事業名	01 文化財整理事業			決算書 P.356												
総合計画	基本方針	Ⅳ 生涯学習都市	計画項目	⑤ 歴史文化遺産の保全と活用												
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額												
267千円	458千円	191千円	58.2 %	458千円												
目的	京丹後市に数多く残されている写真資料について、所在確認とデジタル化を行い、今後の活用を図る。															
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>平成20年度より、京丹後市が保有する膨大な写真を調査確認し、重要な写真をスキャンし、デジタルデータ化を行っている。平成25年度については6,016点をデジタル化できた。また、平成2年に峰山町教育委員会が行った発掘調査に関する調査報告書を作成した。</p> <table border="0"> <tr> <td>○画像デジタルデータ化整理事業</td> <td>177千円</td> </tr> <tr> <td> 臨時職員賃金(1人分)</td> <td>130千円</td> </tr> <tr> <td> (期間：平成25年12月16日～平成26年3月28日 50日間)</td> <td></td> </tr> <tr> <td> 消耗品費</td> <td>47千円</td> </tr> <tr> <td>○大耳尾古墳群発掘調査報告書作成事業</td> <td>90千円</td> </tr> <tr> <td> 印刷製本費 100部</td> <td>90千円</td> </tr> </table>				○画像デジタルデータ化整理事業	177千円	臨時職員賃金(1人分)	130千円	(期間：平成25年12月16日～平成26年3月28日 50日間)		消耗品費	47千円	○大耳尾古墳群発掘調査報告書作成事業	90千円	印刷製本費 100部	90千円
○画像デジタルデータ化整理事業	177千円															
臨時職員賃金(1人分)	130千円															
(期間：平成25年12月16日～平成26年3月28日 50日間)																
消耗品費	47千円															
○大耳尾古墳群発掘調査報告書作成事業	90千円															
印刷製本費 100部	90千円															
主な財源																
評価・課題等	<p>○寄贈を受けた写真資料をデジタル化することで、文化財啓発活動のみならず観光関連資料としても有効に活用できる。</p> <p>○未作成であった、発掘調査報告書を作成することで、研究資料として整備することができた。</p> <p>○発掘調査資料には、スライドが多くあり、劣化が懸念されることから、計画的に資料のデジタル化を進める必要がある。</p>															
事業所管課	教育委員会事務局／文化財保護課															

予算科目	10教育費	05社会教育費	06文化財保護費	07遺跡発掘調査等事業
細事業名	01 遺跡発掘調査等事業			決算書 P.356
総合計画	基本方針	IV 生涯学習都市	計画項目	⑤ 歴史文化遺産の保全と活用
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
2,122千円	2,144千円	22千円	98.9 %	2,144千円
目的	発掘調査等を実施することで、市内の遺跡を効果的に保護するための資料を得るとともに、開発等により現地保存の困難な遺跡の記録保存を図り文化財の保護活用につなげる。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>平成25年度は、久美浜町（口馬地、西本町、十楽、甲山、油池、浦明、海土、平田、大井地区等）において現地踏査による遺跡分布調査を実施した。 また、あわせて遺跡台帳の整理を行った。</p> <p>○現地調査期間 平成25年12月2日～平成26年3月31日・</p> <p>○成果</p> <p>実施地区内で40基ほどの小規模古墳、3か所の城館遺構を新規確認。 また、既知の古墳のうち位置の訂正が必要なものを数箇所確認した。</p> <p>○事業経費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 共済費 発掘調査補助員に関する労災保険料、雇用保険料 21千円 ・ 賃金 発掘調査補助員賃金（延べ126日、4人） 1,793千円 ・ 旅費 調査に関する協議旅費 13千円 ・ 需用費 調査に使用した消耗品費 61千円 分布調査借上車両ガソリン代 28千円 地図等コピー代 14千円 ・ 使用料及び賃借料 関係者協議に係る有料道路使用料 3千円 分布調査車両借上代 189千円 			
主な財源	国補	国宝重要文化財等保存整備費補助金（1/2）		1,000千円
	府補	埋蔵文化財緊急発掘調査費補助金（1/4）		500千円
評価・課題等	<p>○分布調査を実施したことにより、開発時の埋蔵文化財の調整を行うための基礎資料を整理することができた。</p> <p>○今後も将来の開発に備え円滑な調整と文化財の保護活用を図るため、遺跡の分布調査・範囲確認調査を進めていく必要がある。</p>			
事業所管課	教育委員会事務局／文化財保護課			

予算科目	10教育費	05社会教育費	06文化財保護費	50文化財保護一般経費
細事業名	01 文化財保護一般経費			決算書 P.356
総合計画	基本方針	Ⅳ 生涯学習都市	計画項目	⑤ 歴史文化遺産の保全と活用
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
698千円	827千円	129千円	84.4 %	617千円
目的	文化財保管施設の維持管理及び各種文化財保護関係団体の活動を推進し、文化財の保護と活用を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>京丹後市が加盟する文化財関係団体負担金の支出や関係団体への補助金の交付を行ったほか、文化財保護課所管施設の維持管理を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○文化財関係加盟団体経費 90千円 <ul style="list-style-type: none"> 京丹後市が加盟する文化財関係団体負担金等 <ul style="list-style-type: none"> ・全国史跡整備市町村協議会 50千円 ・全国鳴砂ネットワーク 20千円 ・全国鳴砂サミット参加負担金（2人分） 20千円 ○峰山伝統芸能振興会補助金 50千円 ○文化財収蔵施設維持管理費 474千円 <ul style="list-style-type: none"> 資料館以外で所管している文化財収蔵施設に係る維持管理費 （成路分校、十楽倉庫、旧三重保育所、丹後震災記念館） <ul style="list-style-type: none"> ・光熱水費 36千円 ・電話料・火災保険料 145千円 ・機械警備委託料・草刈委託料 289千円 ・修繕料（看板修理） 4千円 ○一般事務経費 84千円 <ul style="list-style-type: none"> ・消耗品費 16千円 ・旅費（鳴砂サミット参加ほか） 68千円 			
主な財源				
評価・課題等	<ul style="list-style-type: none"> ○文化財保護事務及び所管施設の維持管理を適切に実施し、文化財の保護と活用を図ることができた。 ○補助金等に関する基本方針に基づき、補助金の見直しについて検討する必要がある。 			
事業所管課	教育委員会事務局／文化財保護課			

予算科目	10教育費	05社会教育費	06文化財保護費	04市史編さん事業
細事業名	01 市史編さん事業			決算書 P.354
総合計画	基本方針	Ⅳ 生涯学習都市	計画項目	⑤ 歴史文化遺産の保全と活用
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
8,519千円	9,345千円	826千円	91.1 %	10,947千円
目的	京丹後市史を刊行し、京丹後市の歴史や民俗、自然環境の特徴について市民の理解を深める。			
主要な事務・事業及び成果の概要	平成25年度は資料編『京丹後市の民俗』、資料編『久美浜代官所関係史料集』の2冊を刊行した。			
	○編さん委員報酬（調査報酬延べ45人）		636千円	
	○市史編さん専門委員報酬（編さん補助業務1人、週4日勤務）			
	日額9,000円×1人×204日＝1,836千円		1,836千円	
	○共催費（専門委員社会保険料等）		286千円	
	○各専門部の調査（8専門部、部員20人）			
	調査員謝金		550千円	
	原稿作成謝金		40千円	
	○費用弁償（調査員旅費）		376千円	
	○京丹後市史資料編印刷費	各600部作成		
資料編『京丹後市の民俗』印刷		1,707千円		
資料編『久美浜代官所関係史料集』印刷		1,159千円		
○『小林善九郎関係文書調査報告書』印刷	300部	205千円		
○写真撮影委託料（京丹後市の古地図撮影）		1,087千円		
○使用料及び賃借料（調査員宿泊費）		190千円		
○その他事務経費（職員旅費、消耗品等）		447千円		
	参考	繰越明許費を除いた最終予算額	8,645千円	
		実質的な予算執行率	98.5%	
	<p>■平成26年度への繰越事業</p> <p>京丹後市内社寺建築調査委託業務 700千円 ※平成26年7月完成</p>			
主な財源				
評価・課題等	<p>○2冊の市史資料編の刊行により、京丹後市の歴史や文化に対する一般市民の関心を高めることができた。</p> <p>○市史編さん事業により取り組んだ調査成果について、さらに活用することが求められる。</p>			
事業所管課	教育委員会事務局／文化財保護課			